

Northern Hemisphere summer circulation. J. Meteor. Soc. Japan. 65, 373-390.
Saito, N., 1966: A preliminary study of the summer monsoon of the Southern and Eastern Asia. J.

Meteor. Soc. Japan, 44, 44-59.
Yoshino, M. M., 1966: Four stages of rainy season in early summer over East Asia (Part II). J. Meteor. Soc. Japan, 44, 209-217.



河村 武・岩城英夫編

環境科学 I

—自然環境系—

朝倉書店 1988年
316頁, 5,500円

この数年、人間活動の巨大化ともなう自然環境の変化の兆しが顕在化しはじめて来ている。これは、多くの科学者により指摘されて来たことであり、さらにこの1, 2年、政治の問題としても取りあげられるようになった。

これに関連する分野は広く、単に自然科学だけの問題ではなく、特にそれへの対策となると、社会科学も重要になってくる。したがって、環境科学としても、学際的な、広い視野が必要になってくる。今回出版され始めた環境科学は、これに答えるものであり、I, II, IIIの3つの系に別れている。

そのうちのIは自然環境系であり、その内容はつぎの

ようである。

1. 序説(河村武), 2. 大気環境(河村武), 3.1. 地形と地質(新藤静夫), 3.2. 水文(田瀬則雄), 4. 土壌環境, 5. 海洋環境(高野健三), 6.1. 化学物質の種類と特性, 6.2. 環境中における農薬の動態(石塚皓造), 7. 環境と人間の生体反応(藤原喜久夫), 8.1. 生態系の構造と機能(岩城英夫), 8.2. 生物の相互作用と動態(藤井宏一), 9. 水域生態系(高橋正雄)

これを見ればわかるように、狭い意味での環境だけではなく、生態学的視野も入れた、広い範囲の問題を、それぞれの専門家が書いている。専門家はとかく奥行きは深いが見えが狭い。そのため、他の分野のものにはわかりづらいが、本書はこの点、多少教科書的でといえるが、それだけわかりやすい。広い視野が重要になって来た時代、この種の著書は重要であり、さらにIIの人間社会系、IIIの測定と評価の出版も期待するものである。

(高橋浩一郎)